

令和4年度第2回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日 時】 令和4年10月3日（月）

午後3時30分～午後4時15分

【場 所】 多摩市役所 第2庁舎会議室

【出 席】 11名（欠席2名）

【傍聴人】 なし

配布資料：会議次第、第1回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録（案）、令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書（案）、令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算に係る参考資料、令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書（案）、令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算に係る参考資料、教育委員会に提出された牛乳に関する請願について（写）、学校給食試食会の実施について、学校給食残量調査の経過について（当日配布・回収）

1 議事

(1) 第1回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録（案）の確認について

訂正や質問等なし（確定）。

(2) 令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書（案）について

8月24日に監査委員2名による、令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計の決算監査を実施した。決算書及び帳簿・帳票類、その他の書類等を監査した結果、収支状況及び会計処理手続きについては適正に執行されていた旨、監査委員より報告があった。

事務局から、「令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書（案）」及び「令和3年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算に係る参考資料」の内容について説明があった。

以下、質疑応答である。

【委 員】 収入未済額約530万円とかなり大きな金額であるが、これはこのままなのか。回収することは難しいのか。

【事務局】 このまま終わるのではなく、今後3年間は徴収を続けていく。収入未済額は極力なくしたいと考えている。そのために、毎月のように督促状を郵送したり、電話催告を行ったり、連絡の取れない方にはお宅に訪問をしている。今後引き続き回収していく。

【会 長】 その他に質問がなければ、令和元年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書（案）について承認ということでよろしいか。

【委 員】 ≪異議なし≫

【会 長】 では当委員会として承認し、決算書が確定した。

(3) 令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書（案）について

事務局から、「令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書（案）」及び「令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算に係る参考資料」に基づき説明があった。

令和3年度から4年度への繰越金272万3,027円は繰越金へ、物価高騰に対応するための国からの臨時交付金を財源にした公費負担分3,457万円を諸収入に組み入れた。公費負担分の算出方法は、今年4月と前年4月の主な食材の価格を比較、今後の物価上昇も踏まえおおよそ10%と見込み、1人月額500円程度とした。

【委員】 毎年予算を少し余らせて翌年度4、5月に支払いに回せるようにしていたと思うが、予算ギリギリで予備費が厳しい状況になるのではないか。

【事務局】 保護者からいただいている給食費は、本来、子どもたちのために全額使うのが大原則である。その中で食材費が若干値下がりしたときなどに余剰金、繰越金が発生すると考えている。最初から繰越金ありきで考えているわけではないため、給食物資購入費に全額繰入れさせてもらった。しかし、ご指摘のとおり、全額使ってしまうと翌年度当初の時点で残金がなくなり、納品業者に支払いを待っていただくことになってしまうので、そのような状況にならないように考えていきたい。

【会長】 その他に質問がなければ、令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書（案）について承認ということよろしいか。

【委員】 《異議なし》

【会長】 では当委員会として承認し、補正予算書が確定した。

(4) 学校給食残量調査の経過について

事務局から当日配布資料「学校給食残量調査の経過」に基づき説明があった。考察はこれから上がってくるが今年度は残食率が少し上がっている。令和3年度の結果を校長会で報告し、市内中学校9校の給食時間を調べてもらったところ、9校中4校が25分、5校が30分であった。給食時間が長い学校の方が残食率が低い傾向がみられる。すぐに授業時程を変更することは難しいが、例えば、来年度に向けてとか、検討する時期が来た時に考慮していただけるかもしれないという前向きなご意見をいただいている。給食を提供する側としては、引き続き栄養士と相談して献立を立てる中で組み合わせや量、味等を考えて提供すると同時に、学校の方でも栄養教諭等と一緒に食育の授業や声掛けもあわせて、残菜が減るように進めていきたいと考えている。

【委員】 事務局にお願いですが、この資料を見ると、確かに残量については一目でわかるが、学校規模が反映されていないのではないか。規模が大きい学校は残食量が当然多くなると思うので、次回以降、今年度をまとめる時は一人当たりどれくらい残っているかというグラフを作っていただき、加えて給食の時間を横に添えていただければ、今の仮説が成り立つと思う。この表だけでは少し強引かと思われるので、次回以降そのような形でまとめていただきたい。

【委員】 子どもが通っていた中学校は残量が多いと聞いていたのでわかっていたが、中学校は複数の小学校に通っていた子どもたちが1つの中学校に通っている。どの小学校に通っていた子どもがいる中学校というのがわかると、地域性という面も含めわかりやすい資料になるかもしれない。

【委員】 味ご飯は残量は少ないがごはんは多いと聞いている。手作りふりかけを提供することは難しいか。また、ふりかけを作って販売し収入にしているところもあり、収益が上がっていると聞いたことがある。

【事務局】 濃いめの味がついていると確かにごはんが進むと思うが、ふりかけを入れるとその分価格が高くなると思われる。多摩市は和食が多いためごはんの回数が多くなる。

(5) 教育委員会に提出された牛乳に関する請願について

事務局から「教育委員会に提出された牛乳に関する請願」に基づき説明があった。第15回と第16回教育委員会定例会で審議され、診断書無しでも牛乳を止めることができるようにすべきとの結論となった。成長に不可欠な栄養素として効率よく摂取できる牛乳提供は必要であり、完全給食として牛乳を出す前提だが、一方で少なからず残されている実態も考え、保護者からの相談に応じて柔軟に対応することが大事であるとの認識で採択された。当然、アレルギー疾患の命にかかわる対応は引き続き医師が作成した学校生活管理指導表の提出をもとに行う。これ以外の対応は採択に沿った新たな仕組みを作ることになり、保護者からの相談を受ける学校側の負担も出てくるので、具体的な対応策や時期など、学校と教育委員会事務局とで協議を重ねて実施していきたい。

(6) 学校給食試食会の実施について

今回は3日間で計6コースの中から選択して試食をしていただければと思います。当日は、11時頃に集合、南野調理所2階から場内施設の見学後、11時20分過ぎから試食をしていただく。⇒希望ついて、用紙に記入の上、委員会終了後提出。

(6) その他

特になし。次回第3回の委員会は、来年1月下旬頃の開催を予定している。